
心に吹く一陣の風

tarou

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心に吹く一陣の風

【Nコード】

N24490

【作者名】

t a r o u

【あらすじ】

遊戯王の二次元創作です。誤字、脱字、感想などよろしく願っています。

人物設定

遊戯王の二次元創作です。人物設定

主人公…風上信かざかみ しん

性別& a m p ; 年齢…男 18才

性格…基本的に穏やかだが、他人の信念や信頼を汚したり、理由なく裏切る者には容赦がなくなる。カードを大切にしておりどんなカードでもけして粗末に扱わない。

使用デッキ…ガスタを基本的に使用しているがたまに別のデッキを使用している。

パートナー…杜乃京もりの きょう

性別& a m p ; 年齢…女 16才

風上とパートナー関係を結んでおり基本的には、風上と一緒におり、あまりシングル戦はしない。風上に好意を寄せているが気付いてもくれないのと杜乃自体あまり引っ込み思案なためパートナー関係以上は進展していない。

使用デッキ…ナチュルを基本とする。

風上は遊星のみが持っているスターダストドラゴンをなぜか持っている。さらに多数のシンクロモンスターをなぜか持っている。その真相は誰にも知られていなく風上自身もだれにも教えていない。

人物設定（後書き）

あとがき

駄文ですいません。受験生なので更新がカメ以下ですがどうぞよろしくお願いします。

諸注意（前書き）

この世界でのルールです。ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

諸注意

タッグデュエルについて現実やアニメ&漫画とは違う形式を採用しましたので、ルール説明をさせていただきます。

？フィールドと墓地はすべて共有化しました。

？「自分のデッキ（墓地）から特殊召喚（もしくは手札に加える）

ことかできる」という効果は自分たちのに変更させていただきます。

？ドロー効果に関してはそのターンプレイヤーが選択できます。（

例…魔宮の賄賂発動↓相手Aを選択↓相手Aのみドロー）という感じになります。

？ライフポイントは共通8000です。これは特殊デュエル（3対1など）以外変わりません。

諸注意（後書き）

我が儘ばかりを並べてしまいすいませんでした。しかしこれからも
よろしくお願いいたします。

始まりは突然に？（前書き）

始まりは突然に始まります。風はどこにむかうのか…さあ物語を始めよう。

始まりは突然に？

風..「今日の昼食はなにが食べたい杜乃？」

杜..「…お魚？」

風..「魚か…なら鮭のムニエルと温野菜なんてどうだ？」

杜..「うん…それでいい…」

そんなたわいのない会話をしているのが風上信と杜乃京の二人だった。

ここはサテライトと呼ばれる場所である。サテライトには荒くれ者と呼ばれる者たちが集められたいわば「自分たちと違う」ということを主張するために作られた場所である。そこで二人は生まれ、デュエルモンスターズと呼ばれるカードで戦う「デュエリスト」のタッグチームをくんでいた。

二人が少し開けた場所に出ると、決闘デュエルをしている4人を見つけた。

風..「杜乃。…決着がついたようだ…」

杜..「お腹すいた…」

ああ…もうこの娘はもう…？なにが様子がおかしい…？

風..「杜乃。少し待っていてくれるか？」

杜..「……………」

杜乃はなにも言わずに頷いた。

風..「じゃあ少し待っていてくれ。すぐ戻るから…」

俺はそう言くと4人組に近づいていった。

ゴA..「ほら負けたんだよお前ら!! だからお前らのデッキを渡さなきゃならないだよ!」

ゴB..「弱い奴がカードを持ってる資格なんかねえんだよ!! だからお前らのデッキを渡さなきゃならないだよ!」

子供A..「嫌だ!! 無理やりデュエルを始められたのにどうしてデッキを渡さなきゃならないの:『うっせんだよ餓鬼が!!』」

ごろつきたちが子供たちの顔を殴りつけようとした。

風..「おい! 待!」

俺が子供たちとごろつきの間に割って入ろうとした時、後ろから疾風が脇を通り抜けた。

疾風を起こしたのは杜乃だった。杜乃は子供たちに近か寄り、子供たちを抱きしめてごろつきの拳を体で防ごうした。杜乃の自身も体にダメージがあると思っていたが、ごろつきの拳は杜乃には届いていなかった。

風..「悪いがうちのパートナーを傷つけはさせない。もちろんその子供たちもだ。」

ごろつきの腕をつかんだ風上はごろつきを睨んだ。

ゴA..「なんだテメエ!! 邪魔すん!! 『そうも言ってられないからてをだしたんだが』 あああん! テメエ! 死にてーのか!!」

風..「いや死ぬ気もないし痛めつけられるのも嫌だ。」

ゴA & a m p ; ゴB 「「ふざけんな」」

ごろつきたちは風上に向かって殴りつけてきた。

風..「ならデュエルでこい!!」

風上はごろつきたちの攻撃を回避し、腕を取り地面に向かって投げつけた。

風..「この先にデュエルフィールドがある。そこでタッグデュエルだ。お前らが勝てば俺のデッキを渡そう。ただしお前らが負けたたらいままで盗ったカードをすべて返してまわれ。あと二度とここに近づくな。」

？
に
続
く

始まりは突然に？

サテライトの一角にある比較的安全なデュエルフィールド。

風…（相手

はサテライトではよくいるごろつきで、タッグデュエルでサテライトのデュエリストからカードを奪っているやつらだ。そこそこサテライトでは有名なチームだがここは負けるわけにはいかない！）

風…「約束だ。お前たちが勝てば俺のデッキすべてを渡そう。しかしお前たちが負ければ、いままで盗ったカードを置いて去れ！そして二度とここに近付くな！」

ゴA…「いいぜ。どうせ勝つのは俺たちだ！先行は俺だ、ドロー！」

ゴA、ゴB LP8000

風上、杜乃LP8000

ゴA…「カードを1枚セットしてゴブリンゾンビ（星4／闇属性／アンデット族／攻1100／守1050）を召喚。

風上…「ドロー！：俺はガスタ・ガルド（チューナー／星3／風属性／鳥獣族／攻500／守500）を守備表示で召喚。さらに魔法

カード『おろかな埋葬』を発動！デッキからガスタの巫女ウィンダ（星2／風属性／サイキック族／攻1000／守400）を墓地に送る。カードを2枚セットしてターンエンド…」

ゴB…「ドロー！ファイヤー・トルーパー（星3／炎属性／戦士族／攻1000／守1000）を召喚。ファイヤー・トルーパーのモンスター効果発動！召喚、特殊召喚、反転召喚した時、リリースして相手に1000ダメージを与える。くらえ！」

風…（ぐはぁ…バーンか！油断した。）

ゴB…「おら！まだださっき奴の伏せたリバースカードオープン！『リミットリバース』発動！攻撃力1000以下のモンスターを墓地から表側攻撃表示で特殊召喚。さらにもう一度ファイヤー・トルーパーを特殊召喚し、モンスター効果発動！くらえ」

風上…「ぐはぁ…くそ…」

LP8000↓6000

ゴB…「さっきまでの威勢はどうした！俺たちを倒すんじゃないのか！」

杜…「風上…まだいける…勝つよ…」

風上「ああ！もちろんだ！」

ゴB…「何言っているんだ？馬鹿か！ライフポイントの差を見てから言うんだな。俺は魔法カード『ハリケーン』を発動！効果でフアイヤー・トルーパーに使った『リミットリバーズ』を手札に加える！お前らにこの無限連鎖を回避できるか！俺はカードを3枚伏せてターンエンド！」

杜…「：馬鹿はあなた：ドロー：ナチュル・パンプキン（星4／地属性／植物族／攻1400／守800）を召喚：効果発動：そっちにモンスターが存在するから：ナチュル・バタフライ（チューナー／星3／地属性／昆虫族／攻500／守1200）を表側守備表示で特殊召喚：レベル4ナチュル・パンプキンにレベル3ガスタ・ガルドをチューニング：サイコ・ヘルストランサー（星7／地属性／サイキック族・シンクロ／攻2400／守2000）をシンクロ召喚

ゴB&ゴA…「何！シンクロ召喚だと！なぜサテライトに！」

杜…「まだ：魔法カード『死者蘇生』を発動：墓地から、ガスタの巫女ウインダ（星2／風属性／サイキック族／攻1000／守400）を特殊召喚：魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動：手札

のナチュル・ホーストニードルを墓地に送ってナチュル・モスキート（星1／地属性／昆虫族／攻200／守300）をデッキから特殊召喚：レベル2ガスタの巫女ウィンダとレベル1ナチュル・モスキートをレベル3ナチュラル・バタフライにチューニング！」

『今、大いなる大地が目覚めます：顕現せよ。シンクロ召喚！大地の神龍ナチュラル・パルキオン（星6／地属性／ドラゴン族・シンクロ／攻2500／守1800）…』

ゴA&ゴB「なんだあはれは！！」

風…「出たな！杜乃のエースモンスター。大地の神龍ナチュラル・パルキオン」

杜…「バトル：ナチュラル・パルキオンでゴブリンゾンビを攻撃：『ブレス オブ アース』」

ゴ…「罨カード発動！『炸裂装甲』」杜…「無駄：ナチュラル・パルキオンのモンスター効果発動：墓地のナチュラル・バタフライとナチュラル・モスキートをゲームから除外して罨カードの発動を無効にして破壊する。よって『炸裂装甲』が無効化：攻撃続行…」

ナチュラル・パルキオンの口から光球が吐き出され、ゴブリンゾンビを襲う。

ゴA&p;ゴB「ぐはぁ…」
LP8000↓6600

ゴB…「この時、ゴ布林ゾンビのモンスター効果発動！デッキからゾンビマスターを手札に加える…」

杜…「なら…サイコ・ヘルストランサーで攻撃…『サイコ・プラネット』」

ゴA&p;ゴB…「ぐはぁ！！」LP6600↓4200

杜…「カードを2枚セット…サイコ・ヘルストランサーのモンスター効果発動…墓地のガスタの巫女ウィンダをゲームから除外…1200ポイントライフを回復…ターンエンド。」
LP6000↓7200

？に続く

始まりは突然に？

ゴA…「シンクロモンスターがいるからって調子に乗るな！ドロ―！俺はゾンビマスター（星4／闇属性／アンデット族／攻1800／守0）を召喚。モンスター効果発動！手札のゴブリンゾンビを墓地に送って、そのゴブリンゾンビを守備表示で特殊召喚！速攻魔法『地獄の暴走召喚』を発動だ。『地獄の暴走召喚』の効果によりゴブリンゾンビをデッキ、墓地、手札から可能なかぎり特殊召喚する。お前らもフィールド上のモンスターを可能なかぎり特殊召喚できるが、シンクロモンスターはエキストラデッキだから無理だな。よってゴブリンゾンビのみが二体フィールド上に新たに守備表示で特殊召喚される。」

風…（うまい！こちらがシンクロモンスターとすることを坂手に取り、守りを固めてきた！）

ゴA…「さらにカードを一枚セットして、ターンエンド。」

風…「薄々、感じていたのだが、お前たちは素人ではないな…カードの使い方、圧倒的不利な状況下での対応と対策、そして何より自分のデッキを理解し、デッキのできることを最大限まで発揮させることのできるデュエルタクティクス。どうして、お前らがごろつきなんかやっているんだ？」

ゴA…「うつせんだよ！！お前に何がわかる！！プロデュエリストからここに落とされた俺らのことが！」

風…「そうか。確かを俺らにはお前らのことはわからない。…だが！！わからないからといって苦しんでいるとわかっていて、助けになるかもしれないのにそれをしないなんて俺には出来ない！！」

ゴB..「それが要らないおせっかいなんだよ!!」

風..「ああ!! そうだ!! 要らないおせっかいだ。しかし、それで人の心を救うことができるのならどんなことでもやってやる!!」

ゴA..「うるさい! うるさい! うるさい! うるさい!」

風..「まずは間違っていたことを認めさせるために! このデュエル勝たせて貰う! ドロー!」

ゴB..「うるさい! お前になにが出来るってんだ!」

風..「それを今から証明してやる! 俺は魔法カード『死者蘇生』を発動。ガスタ・ガルドを墓地から特殊召喚。さらに手札からガスタの静寂カーム(星4/風属性/サイキック族/攻1700/守1100)を召喚。」

ゴA..「またシンクロ召喚か!」

風..「ああ…そうだ。だがこのターンで終わりだ。」

ゴA..「はっ! ほざけ」(俺らのライフは7200、フィールド上にはモンスターが四体、しかも三体は守備表示だ。そんな状況で終わる訳がねえ!)

ごろつきたちは心の中でそう確信していたが、この場所にいる3人はこのターンがラストターンになることを予測していた。

風..「終わりにしよう。罨カードオープン『重力解除』発動! 効果

により表側表示で存在する全てのモンスターの表示形式を変更する！これによってゴブリゾンビがすべて攻撃表示となる。」

ゴA…「だがお前のモンスターもすべて守備表示になる。パルキオンとヘルストランサー以外は表示形式を変更できない。」

風…「だから言っただろシンクロ召喚だとレベル4のガスタの静寂カームにレベル3ガスタ・ガルドをチューニング。表れる！Xーセイバーウルベルム（星7／地属性／戦士族・シンクロ／攻2200／守1300）！」

ゴA…「だがそのシンクロモンスターの攻撃力は2200。まだそのモンスターじゃ俺たちは倒せないぜ。残念だったな！！」

風…「：誰かこれで終わると言った！手札から『手札抹殺』を発動！この効果で墓地にで手札をすべて墓地に送る、さらに罠カード発動！『リビングデットの呼び声』の効果で『手札抹殺』の効果で墓地に送ったガスタ・イグル特殊召喚する。来い！ガスタ・イグル（星1／チューナー／風属性／鳥獣族／攻200／守400）を特殊召喚！」

ゴB…「またチューナーか？……！！まさか！！」

風…「そのまさかだ。レベル7のXーセイバー・ウルベルムにレベル1ガスタ・イグルをチューニング！」

『集いし風が新たな絆を呼び覚ます。いでよ！シンクロ召喚！生誕！スターダスト・ドラゴン！（星8／風属性／ドラゴン族・シンク

ロ／攻2500／守2000』

ゴA&ゴB..「なんだ。このモンスターは!!」

風..「さあ：終わりしよう：バトル！サイコ・ヘルストランサーで攻撃。『サイコ・プラネット』」

ゴA..「ぐ……はあ……」

LP4200↓2900

風..「さらにナチュル・パルキオンで攻撃『ブレス オブ アース』」

ゴA..「ぐはあ………」

LP2900↓1500

ゴA..「残念だったな!!そのモンスターの攻撃力は2500。俺らのライフを削るのには100ポイント攻撃力が足りなかったな!!偉そうにたらたら下らねえことばかり言っていたのにたいしたことないじゃねえか!!結局そうなんだよ!!世界っていうのは、頑張った所でより大きい権力に潰されて結局、ゴミ溜め(サテライト)に流されるんだよ!」

風..「言ったはずだ。今はお前らがやり方を間違えていたということとを分かせてやると!速攻魔法発動!『イージーチューニング』」

ゴA..「今更、何をしたところで無意味だ!」

風..「そうかな!!俺は墓地のガスタ・ガルドをゲームから除外。
そして、スターダスト・ドラゴンにガスタ・ガルドの攻撃力分、攻
撃力をアップさせる。」

ゴA&p;ゴB..「何だって!!」

風..「終わりだ…スターダスト・ドラゴンで攻撃『スターダストソ
ニック』」

ゴA「ぐあ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

LP1500↓0

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2449o/>

心に吹く一陣の風

2011年10月7日08時20分発行